

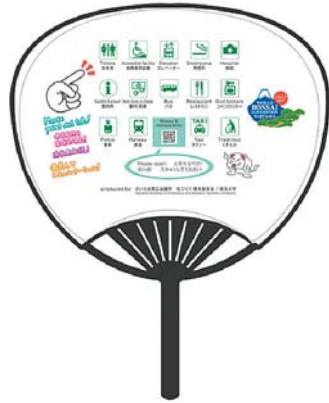
さいたま

絵文字うちわを作成

訪日客と指さしで会話



④左から同所街づくり・観光委員会
の井原委員長、佐伯鋼兵衛頭、齋藤教授(4人目)と学生ら⑤うちの裏面



さいたま商工会議所ニケーションを補助するのはこのほど、インバウンド対応事業の一環として埼玉大学と連携し、外国人とのコミュニケーションのおもてなしスタイル

「うちわによるオリピックの暑さ対策」を同所が取り上げ、同大とコラボレーションして作成したものだ。

表面は外国人が土産として持ち帰れるよう「日本的なイラストをあしらひ、裏面は「お手洗い」「案内所」「レストラン」などを表すピクトグラム(絵文字)を配し、指さし

でコミュニケーションを図れるようにした。また、裏面には地元店舗情報を多言語で表示できるウェブサイトへ誘導するQRコードも印刷。これにより地域振興へつなげるのが目的だ。

うちわは、27、30日にさいたまスーパーアリーナなどで開催される「第8回世界益裁大会 in さいたま」で配布する予定。同所は、さらに32年に開催される「2020年東京オリンピック・パラリンピック」での配布を目指している。